

特殊診療施設

顎顔面口腔再建治療部



診療科WEB



外来担当医表

TEL 022-717-8581 (外来)

部長 小山 重人

顎顔面口腔再建治療部では腫瘍手術や外傷、先天性疾患などによって、口腔を形作る骨や組織、顔面の一部を失った方を対象に、その機能と形態および審美性を回復する顎顔面補綴治療を専門に行っています。顎顔面補綴には、顎骨の欠損部を非観血的にあるいは手術等の併用により人工物で補填する顎補綴（顎義歯）と、顔表面を含む実質欠損部を補填修復する顔面補綴（エピテーゼ）があります。最近ではインプラント義歯である「広範囲顎骨支持型装置及び広範囲顎骨支持型補綴」が保険導入され、顎顔面欠損患者に積極的に歯科インプラントの適用を図っています。また、デジタル歯科診療を応用した顎骨再建補綴治療など先端の診療にも取り組んでいます。医歯境界領域の専門診療チーム医療である嚥下治療センターにおいては、頭頸部腫瘍術後（舌接触補助床（PAP）、軟口蓋挙上装置（PLP）や顎義歯で患者介入）の摂食嚥下・リハビリテーションに取り組んでいます。顎義歯は患者口腔内形態を回復することができ、PAPは舌の口蓋への接触を容易にし、PLPは鼻咽腔を閉鎖しますが、これらを適用することにより、嚥下機能の改善を図っています。

主な対象疾患

先天性、腫瘍手術、MRONJ、外傷後の歯・顎欠損による咀嚼障害、審美障害、発音障害、摂食嚥下障害、口腔機能低下症

先天性、腫瘍手術、外傷後の顔面欠損（目、耳、鼻、指など）による審美障害

口唇口蓋裂による咀嚼障害、審美障害、発音障害

顎骨再建補綴症例